

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	令和4年度人権尊重のまちづくり審議会第1回会議
2 開催日時	令和4年11月29日(火) 午前10時～11時10分
3 開催場所	河内長野市役所 7階 行政委員会室
4 会議の概要	<ul style="list-style-type: none">・正副会長の選出・河内長野市人権施策推進プランについて・その他
5 公開・ 非公開の別	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	総合政策部 人権推進課 (内線558)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

令和4年度人権尊重のまちづくり審議会第1回会議 会議録（要旨）

（日時）令和4年11月29日（火）10：00～11：10

（場所）河内長野市役所 7階 行政委員会室

<審議会委員>

（出席者）

中川 幾郎会長、安達 英行副会長、青海 千秋委員、大原 一郎委員、工藤 兼弘委員、
長橋 淳美委員、野村 秀一委員、柘村 博子委員、峯 満寿人委員、安竹 まき委員

（欠席者）

後藤 幸一郎委員、齋藤 一馬委員、富田 芳男委員

<事務局>

島田市長、宮阪総合政策部長、生田教育指導課長、緒方地域福祉高齢課長、
古城障がい福祉課長、市川子ども子育て課主幹、尾上人権推進課長、堂山人権推進課係長
資料

- ・「河内長野市人権施策推進プラン（改訂版）」令和3年度取り組み状況
- ・本日の会議次第
- ・河内長野市人権施策基本方針(一部改訂)
- ・河内長野市人権施策推進プラン（改訂版）
- ・河内長野市思いやりとぬくもりのある人権尊重のまちづくり条例
- ・河内長野市人権尊重のまちづくり審議会規則
- ・審議会委員名簿
- ・各種チラシ

■ 会議録（要旨）

1. 開会

2. 市あいさつ

島田市長 挨拶。

3. 委員紹介

委員名簿のとおり。

事務局紹介。

4. 案件

（1）会長及び副会長の選出

- ・13名中10名の出席により、本会議は成立
- ・会長：中川委員、副会長：安達委員 を選出。

(2) 河内長野市人権施策推進プランについて

○会長

議事に入ります。案件の(2)河内長野市人権施策推進プランについて、事務局からご説明をお願いします。

○事務局

説明(次の資料に基づく)。

・「河内長野市人権施策推進プラン(改訂版)」令和3年度取り組み状況

○会長

令和3年度の取り組み状況ということで報告をいただいたわけですが、これにつきまして何かご意見、ご質問ございましたら、賜りたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員

3ページの障がいの有無にかかわらず、ともに生きる社会の実現に向けてというところで、就労継続支援事業所の平均工賃は月額ですか?

○事務局

月額です。

○委員

そうしたら括弧して(円/月)と入れていただいた方がわかりやすく、一般の人でもすごく安いのもっと考えないといけないという意見などが出てくるのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。

○事務局

了解いたしました。人権推進課と相談します。

○会長

他に、ご意見、ご質問はございますでしょうか。

○委員

6、9ページの「外国人の人権を尊重する社会の実現にむけて」ですけれども、現段階で、河内長野市の在住外国籍住民の数はどのぐらいあって、人口比で何%ぐらいなのか、もしわかれば教えてください。

○事務局

国際化・多文化共生ビジョンによると、教育委員会で策定している計画ですが、少し数字は古くなってしまうのですが、平成31年の段階で592人、人口比で0.5パーセントぐらいです。

○委員

7ページの真ん中で、障害者就労施設等からの物品等の調達実績がどんどん少なくなっているのは、企業からの受注が減っているということなのではないでしょうか。

○事務局

この調達実績は、庁内各課での名刺の作製や各事務作業、アルバイトの派遣などの実績です。コロナ禍で、事業者が利用を控えていたための減少と考えております。ただ、こういった実績を伸ばしていきたいので、庁内各課に協力を求めていきたいと考えています。

○会長

それでは、この実績に関してのご所見をみなさんに賜っていききたいと思います。名簿順でいいでしょうか。

○委員

先日、市民成年後見人の方と面談する機会がありました。皆さん意欲をもってお世話される気持ちがあるのですが、モチベーションを保つのが難しいというようなことをお聞きしました。市民後見人同士で情報共有するとか、モチベーションを保つ工夫をして欲しいというご意見がありましたので意見として言わせていただきます。

外国人が平成31年で592人、河内長野市にお住まいの人は年々歳をとっていきますので、要介護になる人も当然出てくる、病気になる人ももちろん出てくるのですが、言葉の問題というよりも文化の違いで、なかなかお世話ができない、難しいということも聞いています。その点は国際交流協会との緻密な連携が大事かなと思います。

作業所のことで、いろいろご意見が出ましたけども、後継者のいない農業経営者など悩みを抱えているところに就労先を求めている作業所さんと連携をして、ウィンウィンの関係を作っていくという農福連携でいろんなパターンがあり成功事例があります。農福観光とか農福教育とか農福商工とかも出てきている時代ですので、いろんな新しい先進事例を取り入れて、河内長野市も工賃アップに繋がるように積極的に取り組んでいただけたらという希望です。

○委員

これからも気をつけないといけないのは、子どもたちです。もっと楽しくというか、追い詰められた生活しているような気がしないでもないです。スマホとかでいろいろ変な情報が流れたり、友達同士の関係など、今後もう少し考えていかなければと思います。

○会長

ご意見として、記録に残してください。

○委員

河内長野市は非常に積極的に人権問題に取り組んでいて、ただ、今はコロナ禍で市民の状況は、格差が拡大して、生活が厳しい状況になってきている。それに伴って、人権問題も複雑化、多様化してきて、このプランの場合は一つ一つの課題で整理してありますが、それらが複合的に現れているというのが、現実だと思います。厚生労働省は地域共生社会ということ掲げて、縦割りではなく総合的に解決していくため、市民の力も借りながらやっていこうというのが今の福祉の流れです。国の政策としても、重層的支援体制整備事業が始まって、縦割りだけでは解決できないそれぞれの施策、それぞれ担当とどう連携して対応していくかという視点が必要になると思います。だからこのプランに関しても、そういうものを取り入れてもいいと思います。

○委員

青少年指導員という立場から発言させていただきますと、2020年、2021年とコロナ禍で事業運営が全くできない状況になっておりました。今年になってようやく感染症対策をしながら少しずつ泊まりでというのは、なかなか厳しいのですけれども、日帰りレベルで事業を打てるような形にはなっています。先ほど他の委員の方からも子どもたちのこと何とかならないかというようなご指摘いただきましたが、今後もコロナとうまく付き合いながら、運用を少しずつ一歩ずつ広げていければと感じているところです。

○委員

私は国際交流協会の所属です。先程、外国人の数5百何人とありましたが、コロナで出入りがあると思うので少なくなっているかもしれないですが、最近、よく見かけませんか。ベトナムの方かがたくさん来られているので、正式な人数というのはわからないのですが。国際交流協会の局長は、どなたに対しても優しく接して、一生懸命理解してもらえよう説明しています。もうひと

つ、私は、障がい者、精神の方に関わっていて、先程職業云々とありましたが、生花業のメンバーさんたちが一生懸命仕事して賃金が上がって喜んで頑張っているという話も聞いております。障がい者が少しずつですがレベルアップしてきていて、周囲の皆さんの受け入れが良くなっているとみえています。

○委員

令和3年度の取り組みとこれまでの取り組みを挙げていただいている、今コロナ禍にあってなかなかその事業等ができなくて目標値に届いていない部分もあるというのは理解します。

中川会長もいわれたように、社会の変容で一口に人権といっても様々で、取り組み課題ということで10項目挙げられているけれど、これは便宜上10項目に番号がふっているように思います。見方によると市のプライオリティがこの順番についているという捉われ方をされる場合もあります。資料の配置で番号があるのということだと思のですが、この順番のあり方とか、市民に人権というものを周知するにあたって、その立場、立場によって、捉え方が全く違ってくるということもあると思う。こうした細かな部分を勉強会とか講習会での講師選定も含めて、いろんなところの配慮が必要になってくると感じます。万人に受け入れられる人権のありようというのは、なかなか難しいです。ただ、その中でその河内長野市として守っていかなければいけないこの目標を達成するための基本理念を達成するためのそのポジションを明確にしながら、この審議会の中でも共有することが必要になると思います。

○委員

私は人権擁護委員ですが、人権相談を月2回実施していますが、相談が少ないです。でも差別が減っているというわけではなく、擁護委員以外に市の相談窓口がたくさんあるので、それで減っているのだと思っているので非常にありがたいことだと思っています。

○副会長

昨年、千代田小学校でLGBTの学校ふれあい人権講座を実施して、河内長野市もそういうことに前向きに取り組んでいこうと考えておられることをありがたく思っています。今年も、加賀田中学校、長野中学校が積極的に取り入れてくださいました。こういう問題は、微妙なところもありますので、教育現場の中で広げていくというのは難しいです。しかし、そこをしっかりと指導していく考えで広げていかないと、これは放っておいたらぼんぼんでしまう、そういうものだと思います。難しい問題を抱えておりますけれども、できるだけ積極的に広げていく、啓蒙をしていくことも必要ではないかと感じました。

○委員

中学生の制服について、女子生徒でズボンをはいている人をよく見かけるようになりました。そういうふうに変更できるようになって、子どもたちにとって非常にいいことだなと思います。あと個人的にいつも気になるのが、30代、40代で元気のない人、うつ病とまではいかないですけども、元気を失っている人がとても多くて、それがとても気になっています。

○会長

今回の報告を拝見して、辛いなと思ったことがひとつあります。8ページから13ページまでの令和3年度実施内容がみな同じ記述なのです。これはいかなることかと考えますと、これだけ事業を実施している中に、例えば「多様な性のあり方が尊重される社会にむけて」のテーマも入っています、「感染症患者」も入っています、「高度情報化社会における人権尊重」も入っています。どなたかからご指摘ありましたように、たくさん課題が並んでいると並んでいるがために落ちてしまうような課題もあるかもしれないという不安があります。個別の課題をきっちりと一番から並べて

のは、啓発しているだけでは駄目で行政内部にその認識をきちっと徹底させていただくという内部改革の努力も必要だと思います。

○事務局

ありがとうございます。

○会長

他ございませんか。よろしいでしょうか。

(3) その他

○会長

それでは次案件の3「その他」に移ります。

○事務局

報告（次の資料に基づく）。

- ・「大阪府インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会づくり条例」のちらし
- ・「女性のための電話相談」のちらし
- ・人権啓発映像「わたしは、今こう思う。」

<映像 視聴>

5. 閉会

○会長

本日の案件はすべて終了いたしました。

以上をもちまして、人権尊重のまちづくり委員会を閉会いたします。本日はお疲れ様でございました。事務局にお返しいたします。

○事務局

本日は皆様、どうもありがとうございました。皆様からいただきました貴重なご意見は当施策のほうに反映できるように、実施して参りたいと思います。ありがとうございます。

案内

- ・人権・平和に関する展示啓発
 - ・12月の1日から16日まで北朝鮮人権侵害問題啓発週間のアニメ「めぐみ」放映
- 本日はありがとうございます。

○事務局

ありがとうございました。